



稲高だより

静岡県立稲取高等学校

令和6年11月18日

第8号(通算172号)

まこと いっくしみ つとめる
「誠 愛 力」

体育大会

10月18日(金)、体育大会が行われました。天候不順であった開会時でしたが、雨もやみ競技を行うことができました。保護者の皆様、地域の方々から多くの応援を頂き、ありがとうございました。生徒たちが、仲間を思い一生懸命に応援する姿は、輝いていました。



体育大会を終えて…団長からの言葉



赤組団長
31HR 梅光暁大さん
(下田東中)

高校生活で最後の体育大会は、総合優勝とは程遠い結果になりました。それでも、みんな楽しそうに競技も応援もしていたので、とても良い体育大会になったと思います。この3年生と過ごす学校生活も残り少なくなってきました。一日一日を大切に過ごしていきたいです。また、1、2年生は来年の体育大会が晴れるように今日から祈りましょう。



青組団長
32HR 野中 頼さん
(河津中)

雨が降って天気が悪い中、お疲れさまでした。皆さんが雨が降っても諦めないでやり続けた結果、すぐに止み、良い天気になりました。一番印象に残っているのは、ブロック対抗リレーです。あまり関りのなかった人達と協力して走る競技です。チームを応援し、コミュニケーションをとりました。全員の絆を感じることができました。来年の2年生、3年生は今年の体育大会を超える素晴らしいものを作って欲しいです。



黄組団長
33HR 田中優理さん
(河津中)

体育大会を終えた今「楽しかった」という感想が一番大きいです。団長として特にこれと言ったことはしていませんが、体育大会当日は全員が種目に出ている人を精一杯応援しており、とても良い雰囲気でした。本当に、黄組の皆さんの力があってこそできた優勝だと思います。高校生最後の体育大会優勝することができ、とても嬉しかったです。御協力ありがとうございました。

3年生「自己探究」

郷土の「食」の伝承を通して、次世代を担う子どもたちの食に関する自己管理能力を高める事業を、平成23年から実施しています。今年度も、東伊豆町助産師の皆様、伊豆漁協女性部協力隊の皆様、伊豆農業研究センター研究員の皆様を講師に迎えて様々な実習を行いました。



11月朝礼

校長先生からのお話は以下です。

「視野を広く」

視野という言葉は、「目で見えている範囲」のことです。でもそれだけでなく、思考や知識の幅が広く多面的に物事をみることができている状態のことを「視野が広い」と言うようになりました。思考や知識の量ではありません。視野を広く持つことは、社会に出ても様々な日常のシーンで役立つため非常に重要なことです。当然個人差はありますが、ある程度経験や知識の幅に比例するため、年齢が若いほど視野が狭い傾向にあります。視野が広い人の特徴は、○好奇心旺盛で知識が豊富 ○フットワークが軽い ○1つの意見や考えに固執しない。

逆に、視野が狭いデメリットは、「臨機応変に対応できない。」「非効率な行動をしてしまう。」「理解力が低くなる。」です。では、視野を広げるにはどうしたらいいのか。3つ紹介していきます。

1 様々な領域に関心を持ち、情報収集する

視野を広げるには、やはり知識や経験の幅が大きくなカギになります。ですから興味関心が薄い科目についても、日々の授業を大切に、前向きに授業に参加してください。また、日常に関する何に対しても興味や疑問を持ち、情報収集していくことも大切です。まずは調べてみるように心がけましょう。

2 多様な価値観や年代の人と会話する

視野を広げていくうえで、普段出会わなさそうな人や、自分とは異なる価値観や年代の人と積極的に話す方法も勧めます。今月は、地域の人々と語る会や、卒業生講話などを行っています。そのような人たちと意識的に会話の機会を設けていくことで、世の中には多様な価値観や考え方があることに気が付き、自分自身の世界や視野を広げられるでしょう。

3 思考の癖に気づく

「思い込みや先入観」を捨て、単一の思考パターンに囚われないようにするためには、自身の「思考の癖」に気づくことが重要です。こうした癖を改善していくためには、「クリティカルシンキング（批判的思考）」という、意識的に自分の考えを批判的にみる思考法の習得も有効です。

視野を広げるには、ひとつの考えにこだわらずに価値観を得られるような体験を重ねていくことが大切です。さまざまな意見を受け入れる姿勢は、高いコミュニケーション能力として発揮され、多様性に繋がっていきます。現状では見えなかったものも、新しいことに挑戦することで見えてくるかもしれません。視野を広がることで人としても成長していきます日地として成長する努力をしていきましょう。

1年生保育実習体験

10月31日（木）1年生は、保育に関する体験活動から生命の尊さや子育ての意義を学ぶことを目的として、保育実習体験を行いました。多くの保育園、幼稚園、こども園の御協力ありがとうございました。



オープンスクール

11月2日（土）、オープンスクールが行われました。天候不順でありましたが、多くの中学生、保護者の皆様に来校していただき、本校の日常を見ていただく機会となりました。



伊東市芸術祭フォトコンテスト

文化協会長賞受賞 23HR 谷澤佑菜さん（河津中）

私は、伊東の按針祭で花火の写真を撮りました。誰が見ても綺麗だと思えるような写真を目指しました。普段私は人の写真を撮るのですが、お祭りに行った時にイベントであった花火がとても迫力があり素敵で、他の人にも見てもらいたいと思いました。今後も色々な人を撮ることに加え、誰かに見せたいような写真を意識して沢山撮っていきたいです。

※写真部の作品は、2階の廊下に掲示しています。皆さん、是非御覧ください。